

9 「孤立ゼロプロジェクト」など

-
- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
 - (2) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路
 - (3) 「地域包括支援センター」の認知状況
 - (4) 「地域包括支援センター」の認知経路
 - (5) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
 - (6) 協力意向がある活動内容
 - (7) 「成年後見制度」の認知状況
-

9. 「孤立ゼロプロジェクト」など

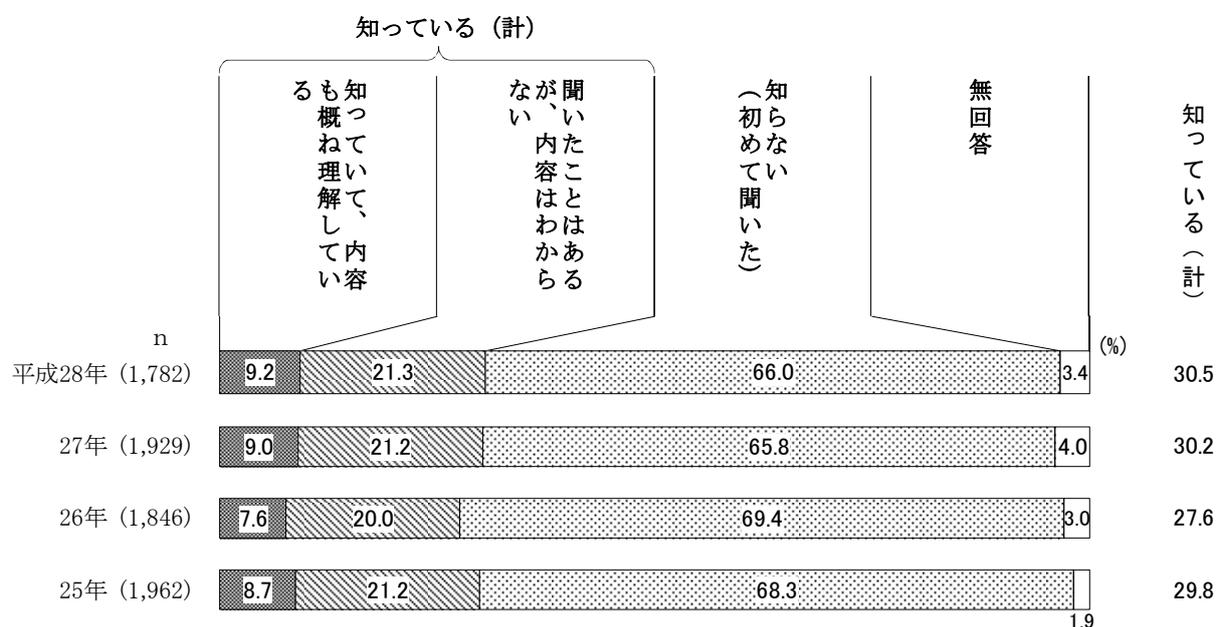
（1）「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

■ 【知っている】が3割

問35 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか。
（○は1つだけ）

※ 「孤立ゼロプロジェクト」とは地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

図9-1-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



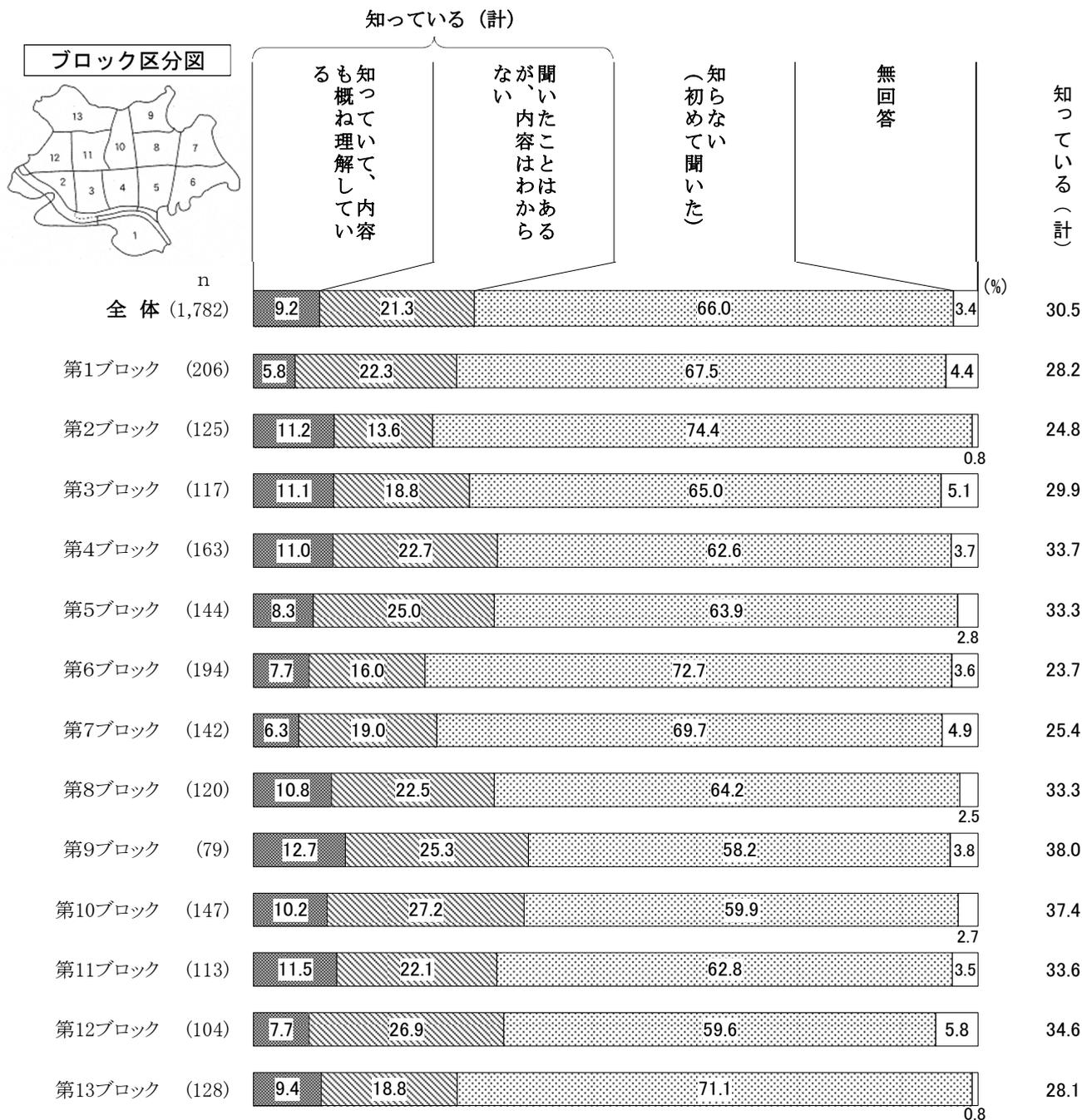
「孤立ゼロプロジェクト」について、「知っている、内容も概ね理解している」が9.2%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の21.3%を合わせた【知っている】は30.5%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は66.0%を占めている。

経年でみると、【知っている】は今回30.5%と、ほぼ横ばい状態となっている。

第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

地域ブロック別で見ると、【知っている】は、第9ブロック、第10ブロックで、それぞれ38.0%、37.4%と高くなっている。地区ブロック間の差は、第9ブロックと第6ブロックの間で最も大きく、両者の間には14.3ポイントの差がある。

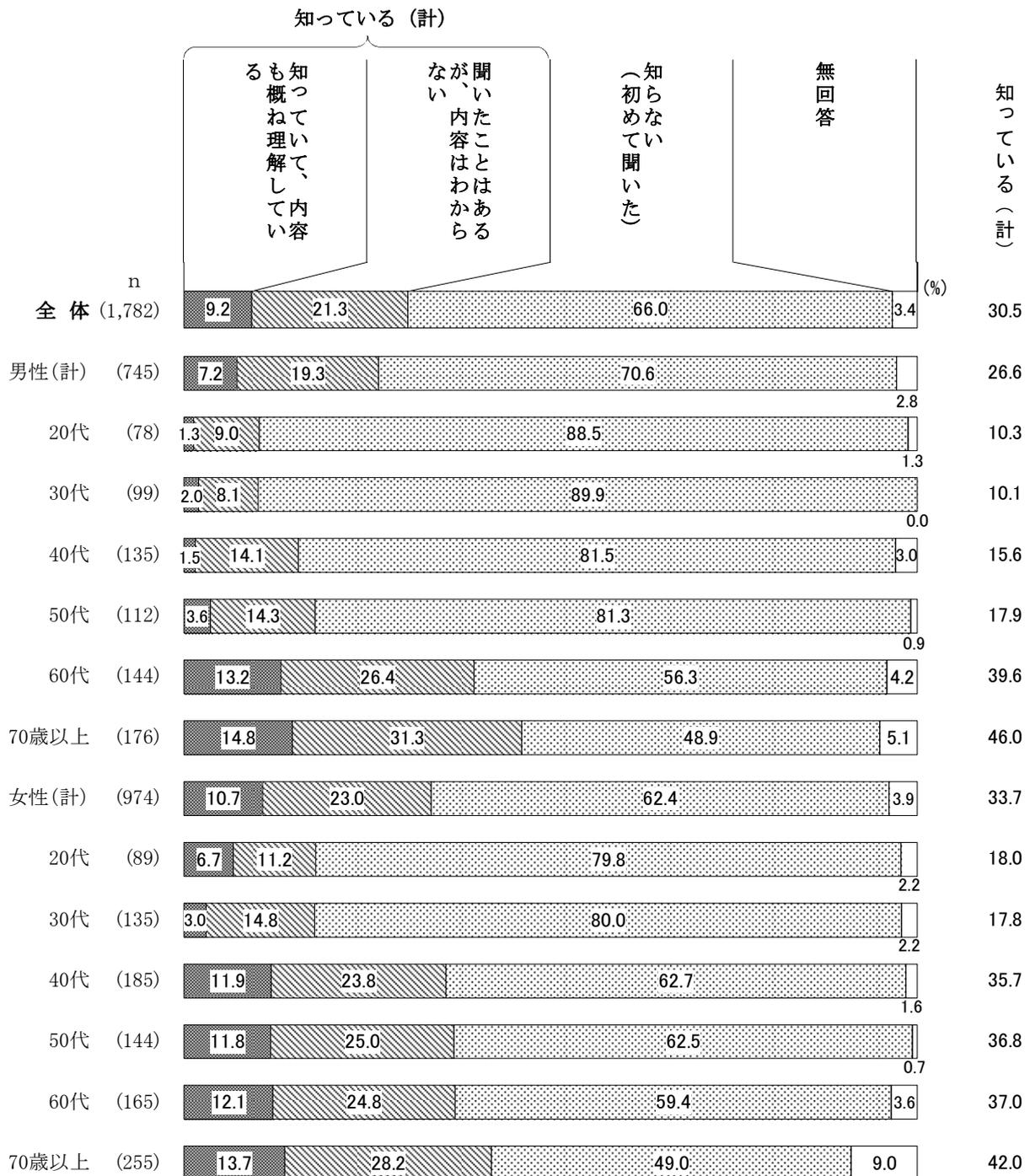
図9-1-2 地域ブロック別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



性別で見ると、【知っている】は男性26.6%、女性33.7%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別で見ると、男性では【知っている】は加齢とともに増加し、60代で39.6%、70歳以上で46.0%となっている。

女性でも、ほぼ同様の増加傾向を示し、60代で37.0%、70歳以上で42.0%となっている。

図9-1-3 性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

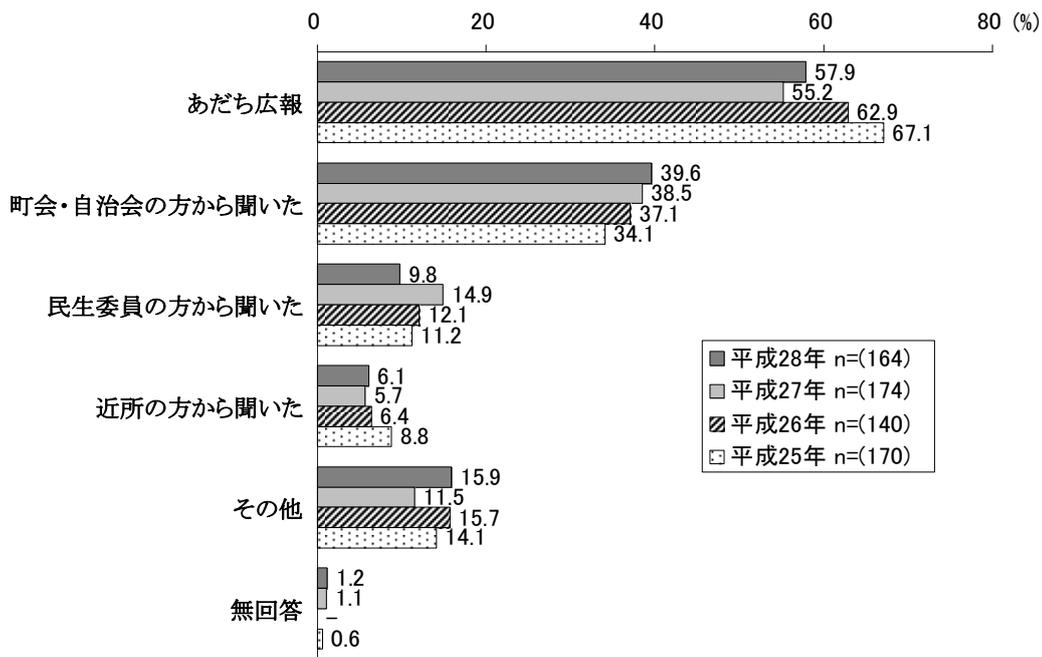


(2) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路

■ 「あだち広報」が5割台後半、次位「町会・自治会の方から聞いた」は4割弱も増加傾向

問35で「1. 知っていて、内容も概ね理解している」とお答えの方に
 問35-1 プロジェクトのことをどのようにして知りましたか。
 (〇はあてはまるものすべて)

図9-2-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路

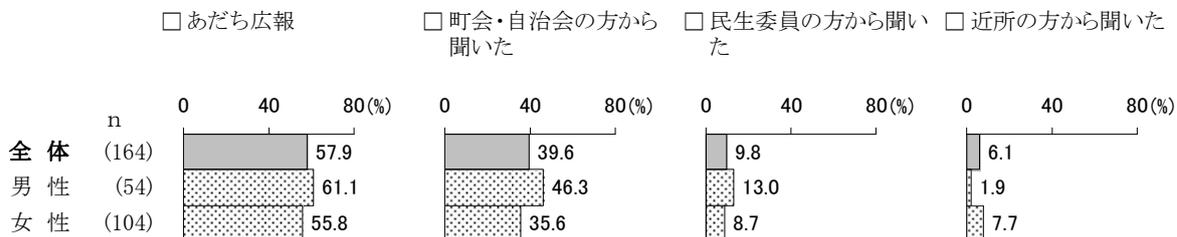


「知っていて、内容も概ね理解している」人に、情報媒体を聞いたところ、「あだち広報」が57.9%で最も高く、次いで「町会・自治会の方から聞いた」(39.6%)となっている。

経年でみると、「あだちと広報」は今回57.9%と、平成27年の55.2%から2.7ポイント微増している。

性別でみると、男性では「あだち広報」が61.1%と、女性(55.8%)より高くなっている。また、男性では「町会・自治会の方から聞いた」が46.3%と、女性(35.6%)を上回っている。

図9-2-2 性別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路



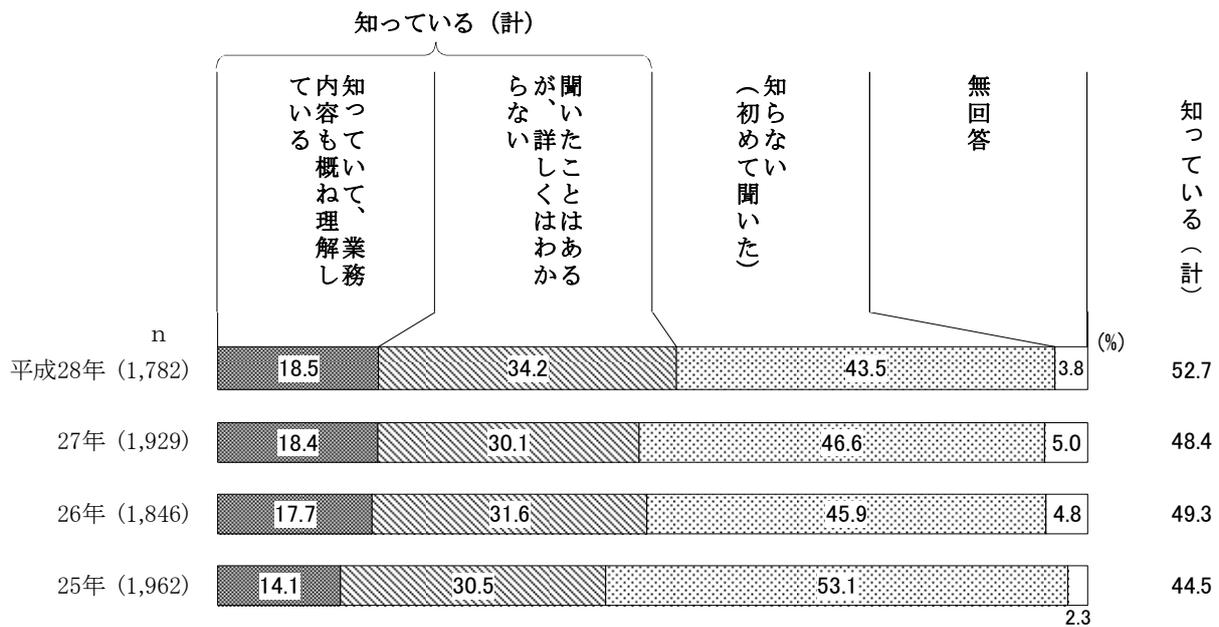
（3）「地域包括支援センター」の認知状況

■ 【知っている】が半数を超える

問36 あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「地域包括支援センター」とは足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の様々なご相談に応じて、公的な保健福祉サービスの紹介や申請手続きのお手伝いをします。

図9-3-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況



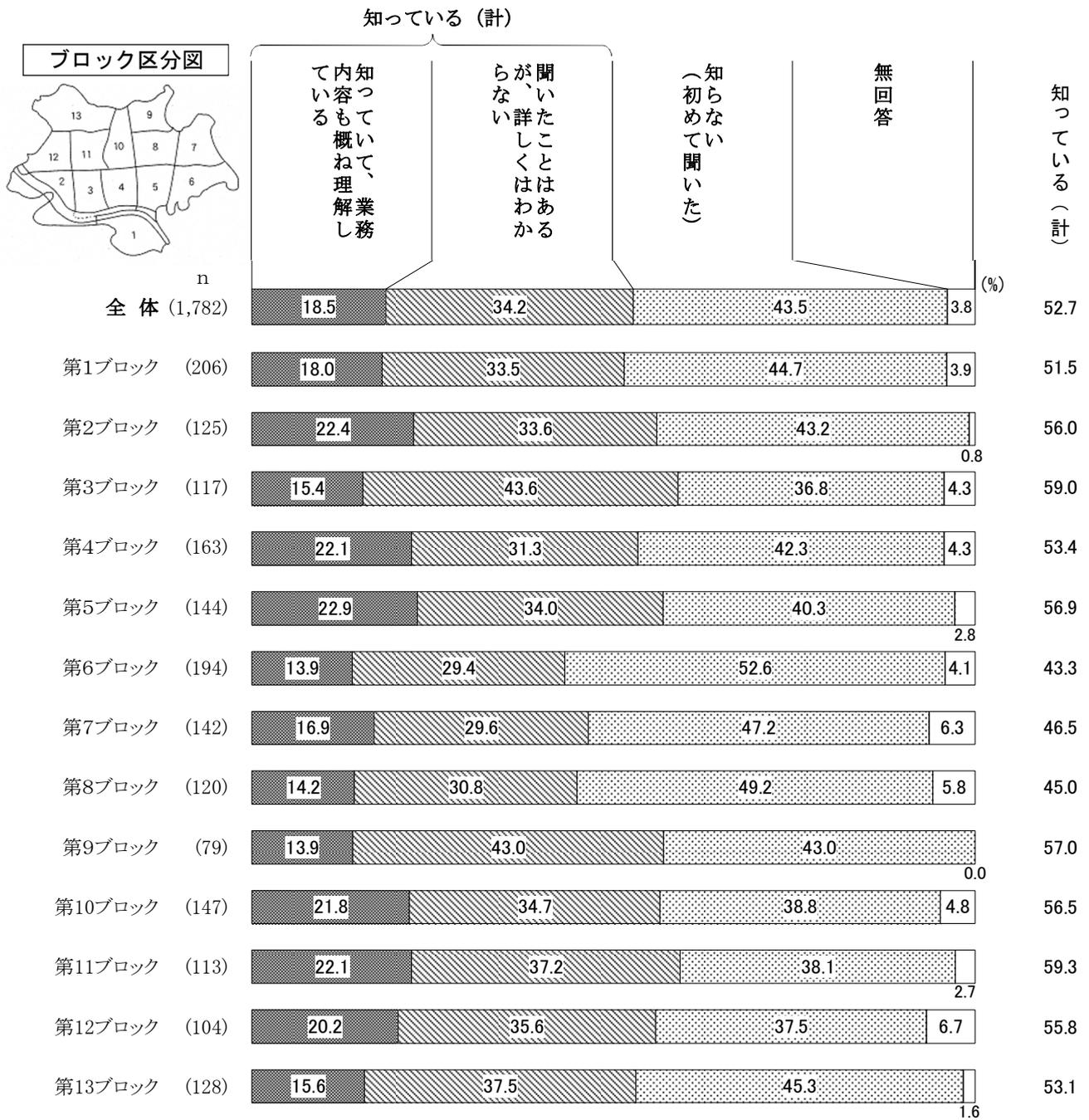
「地域包括支援センター」について、「知っていて、業務内容も概ね理解している」が18.5%で、これに「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」の34.2%を合わせると【知っている】は52.7%である。一方、「知らない（初めて聞いた）」は43.5%を占めている。

経年でみると、【知っている】は今回52.7%と、平成27年の48.4%から4.3ポイント増加している。

第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

地域ブロック別で見ると、第11ブロックで【知っている】が59.3%と、6割近くを占めているほか、第6ブロックから第8ブロックを除く、全ブロックで5割を超えている。

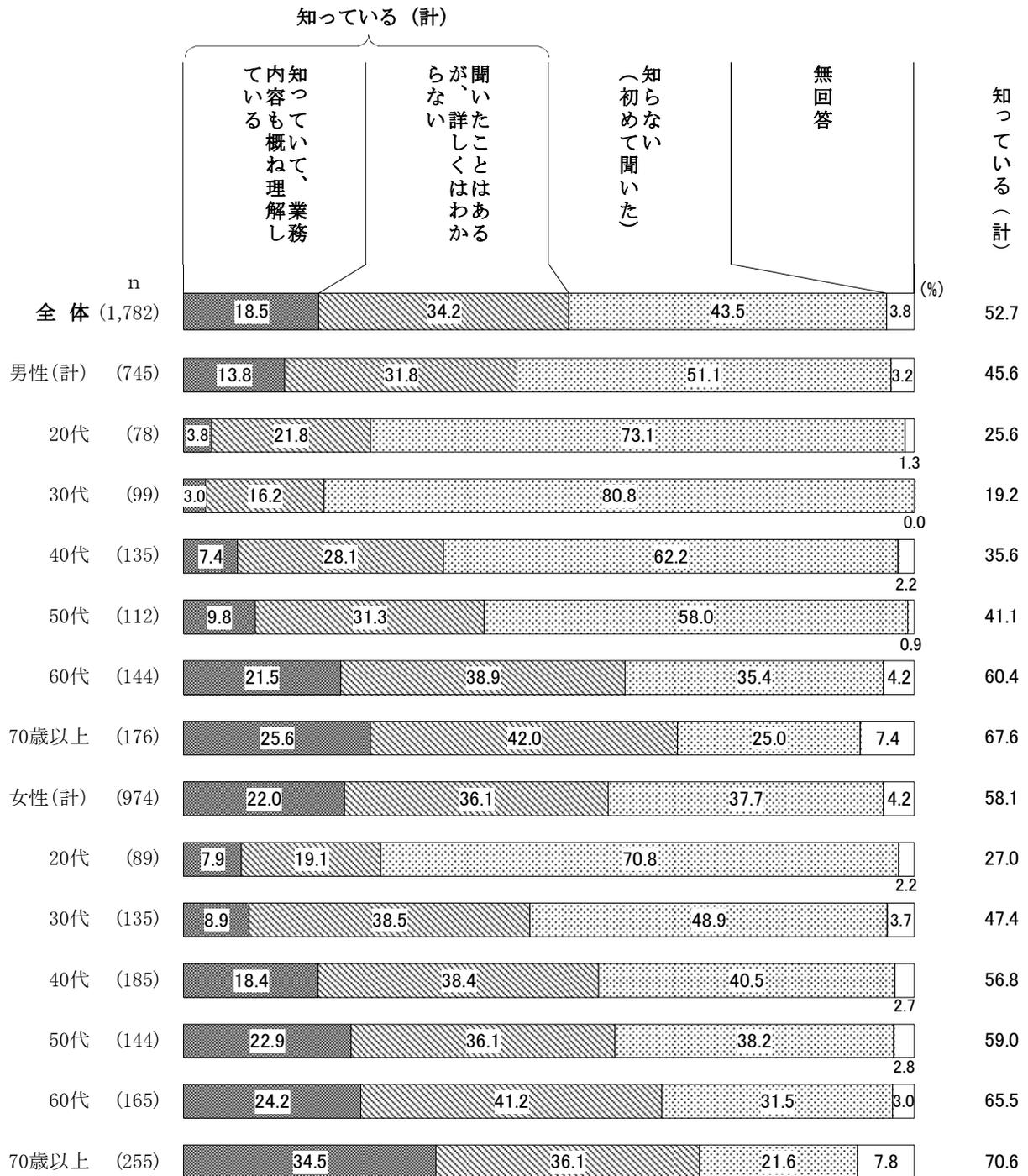
図9-3-2 地域ブロック別／「地域包括支援センター」の認知状況



性別で見ると、【知っている】は男性45.6%、女性58.1%と、男性より女性で高くなっている。
 性・年代別で見ると、男性では、60代、70歳以上で【知っている】が、それぞれ60.4%、
 67.6%と高くなっている。

女性では、加齢とともに【知っている】が増加し、70歳以上では70.6%となっている。

図9-3-3 性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況

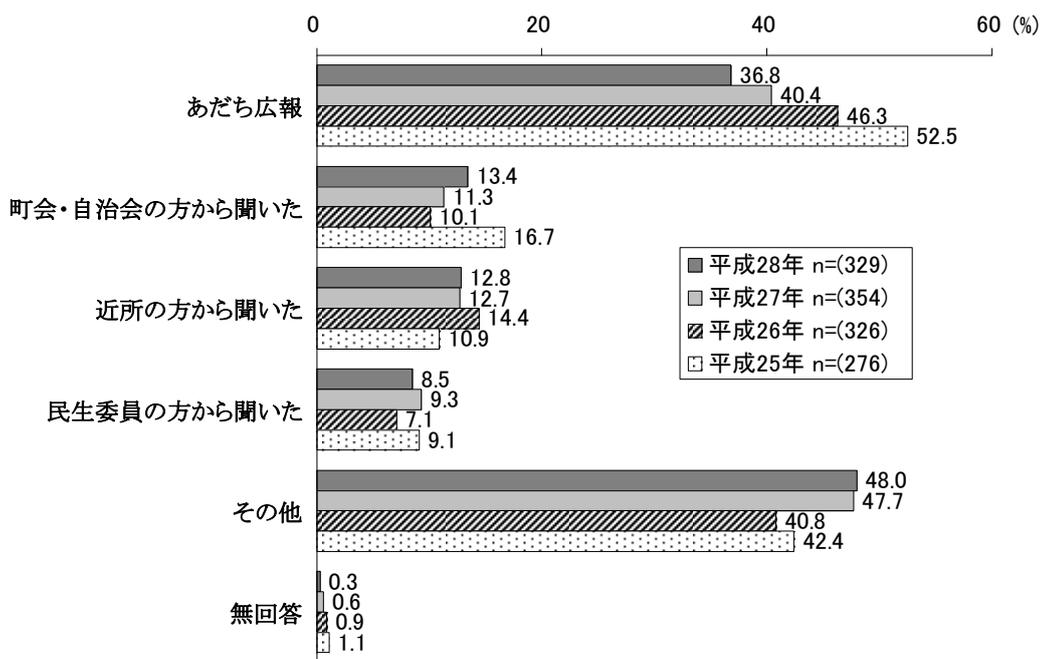


（4）「地域包括支援センター」の認知経路

■ 「あだち広報」が3割台半ばも減少傾向が顕著

問36で「1. 知っていて、業務内容も概ね理解している」とお答えの方に
 問36-1 「地域包括支援センター」のことをどのようにして知りましたか。
 （〇はあてはまるものすべて）

図9-4-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知経路

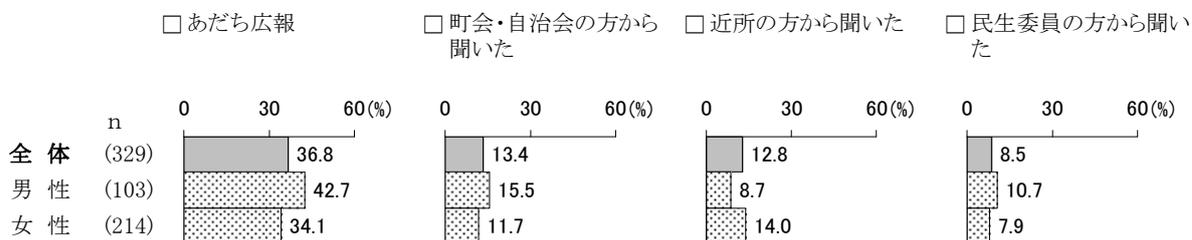


「知っていて、業務内容も概ね理解している」という人に、情報媒体を聞いたところ、「あだち広報」が36.8%で最も高く、以下「町会・自治会の方から聞いた」（13.4%）、「近所の方から聞いた」（12.8%）の順で続いている。

経年でみると、「あだち広報」は今回36.8%と、平成27年の40.4%より3.6ポイント低く、平成25年以降、減少傾向が続いている。

性別でみると、「あだち広報」は男性42.7%、女性34.1%と、男性が女性より高くなっている。また、「町会・自治会の方から聞いた」「民生委員の方から聞いた」についても、男性が女性より高くなっている。

図9-4-2 性別／「地域包括支援センター」の認知経路

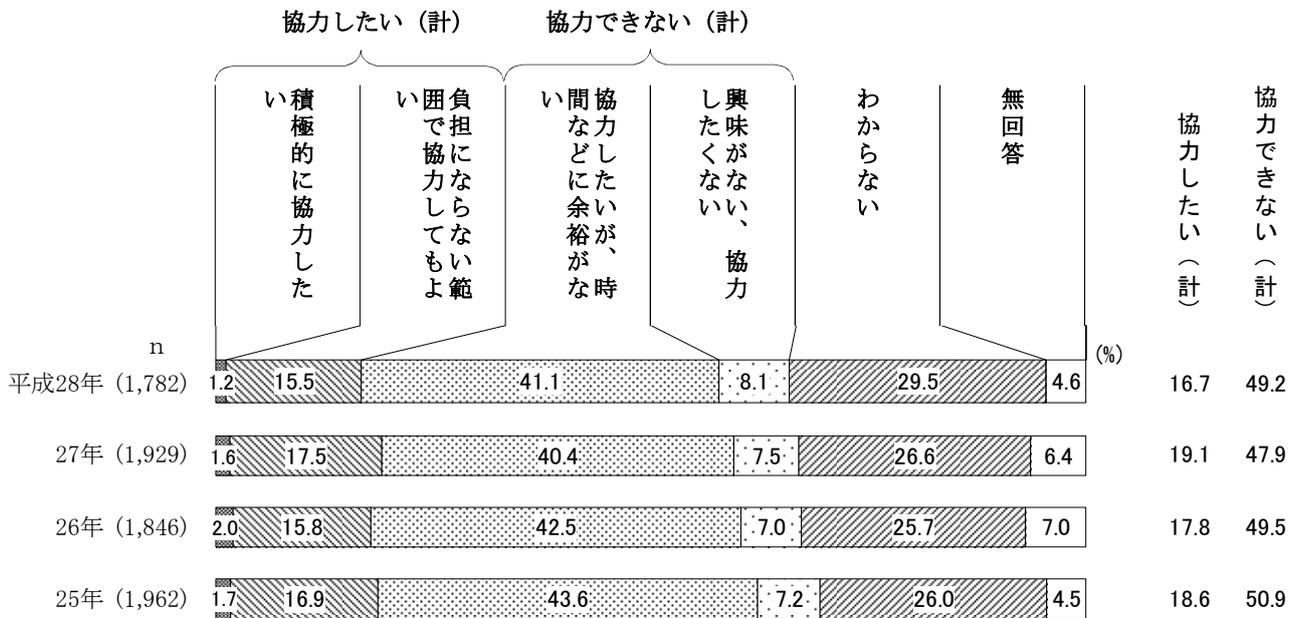


（5）高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

■ 【協力したい】が微減したのに対し、【協力できない】が増え、やや差が広がる

問37 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は1つだけ）。

図9-5-1 経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



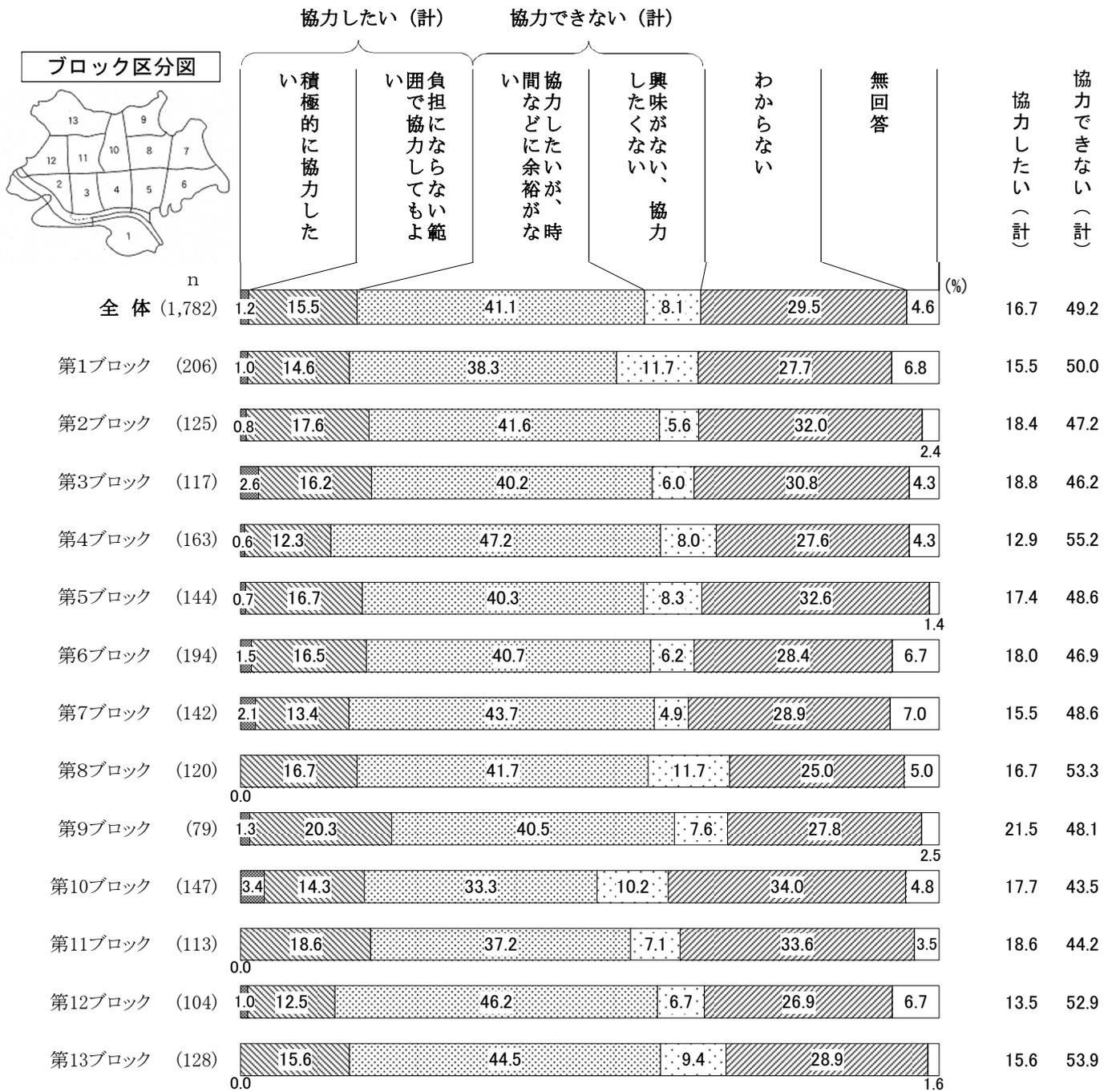
高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は1.2%で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」の15.5%を合わせた【協力したい】は16.7%である。一方、「協力したいが、時間などに余裕がない」は41.1%、「興味がない、協力したくない」は8.1%となっている。

経年でみると、【協力したい】は今回16.7%と、前回の19.1%より2.4ポイント減少している。

第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

地域ブロック別で見ると、第9ブロックでは、【協力したい】が2割を超えており、他のブロックより高くなっている。

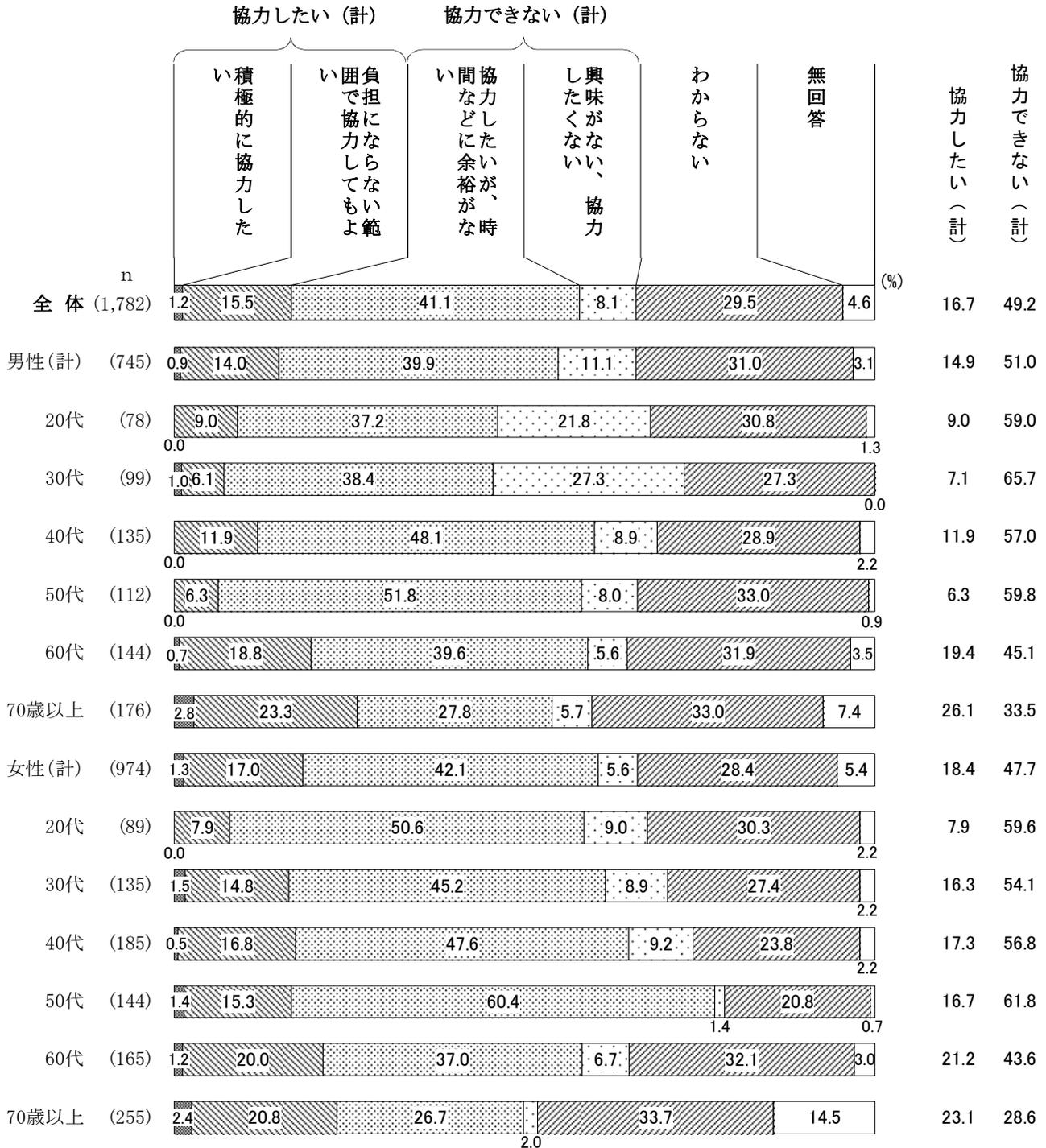
図9-5-2 地域ブロック別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



性・年代別で見ると、男性では、60代、70歳以上で【協力したい】が、それぞれ19.4%、26.1%と、他の年代より高くなっている。

女性では、60歳以上で【協力したい】が2割を超えている。

図9-5-3 性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

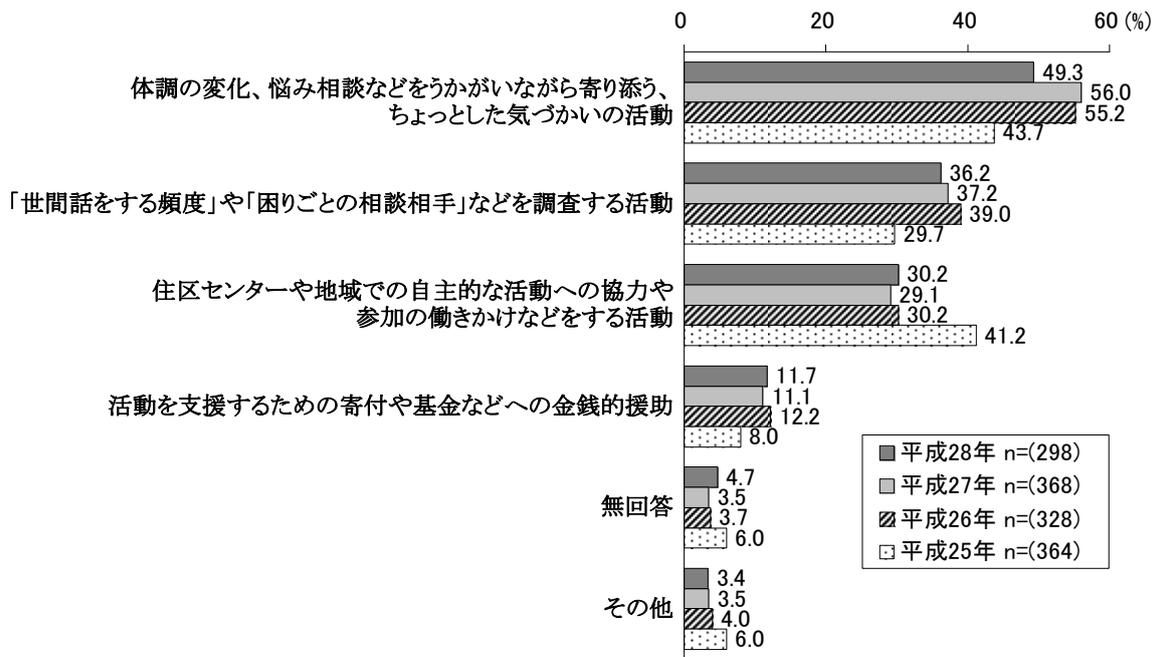


(6) 協力意向がある活動内容

■ “ちょっとした気づかひの活動”が5割弱も、昨年からは減少

問37で「1. 積極的に協力～」、または「2. 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に
問37-1 どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

図9-6-1 経年比較／協力意向がある活動内容



平成25年調査の選択肢について

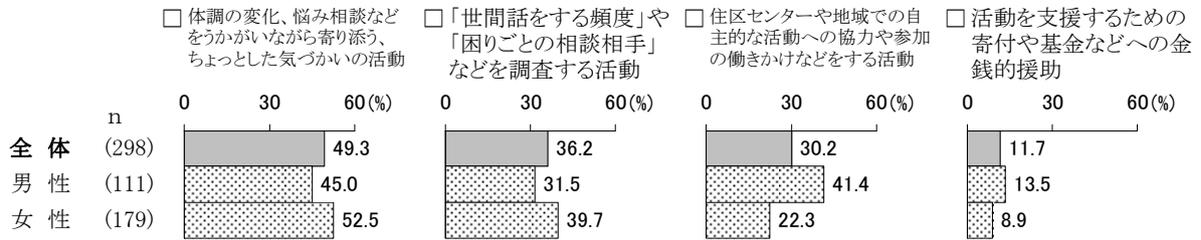
- 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動＝平成25年調査：寄り添い支援活動
- 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動＝平成25年調査：調査活動
- 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動＝平成25年調査：居場所づくりや活動の場での協力
- 活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助＝平成25年調査：財政的協力

【協力したい】という人に、その活動内容を聞くと、「体調の変化、悩み相談などをうかがいながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動」が49.3%で最も高く、以下『「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動』（36.2%）、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」（30.2%）の順で続いている。

経年でみると、「体調の変化、悩み相談などをうかがいながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動」が、今回49.3%と、平成27年の56.0%から6.7ポイント減少している。

性別で見ると、「体調の変化、悩み相談などをうかがいながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は男性45.0%、女性52.5%と、男性より女性が高くなっている。

図9-6-2 性別／協力意向がある活動内容

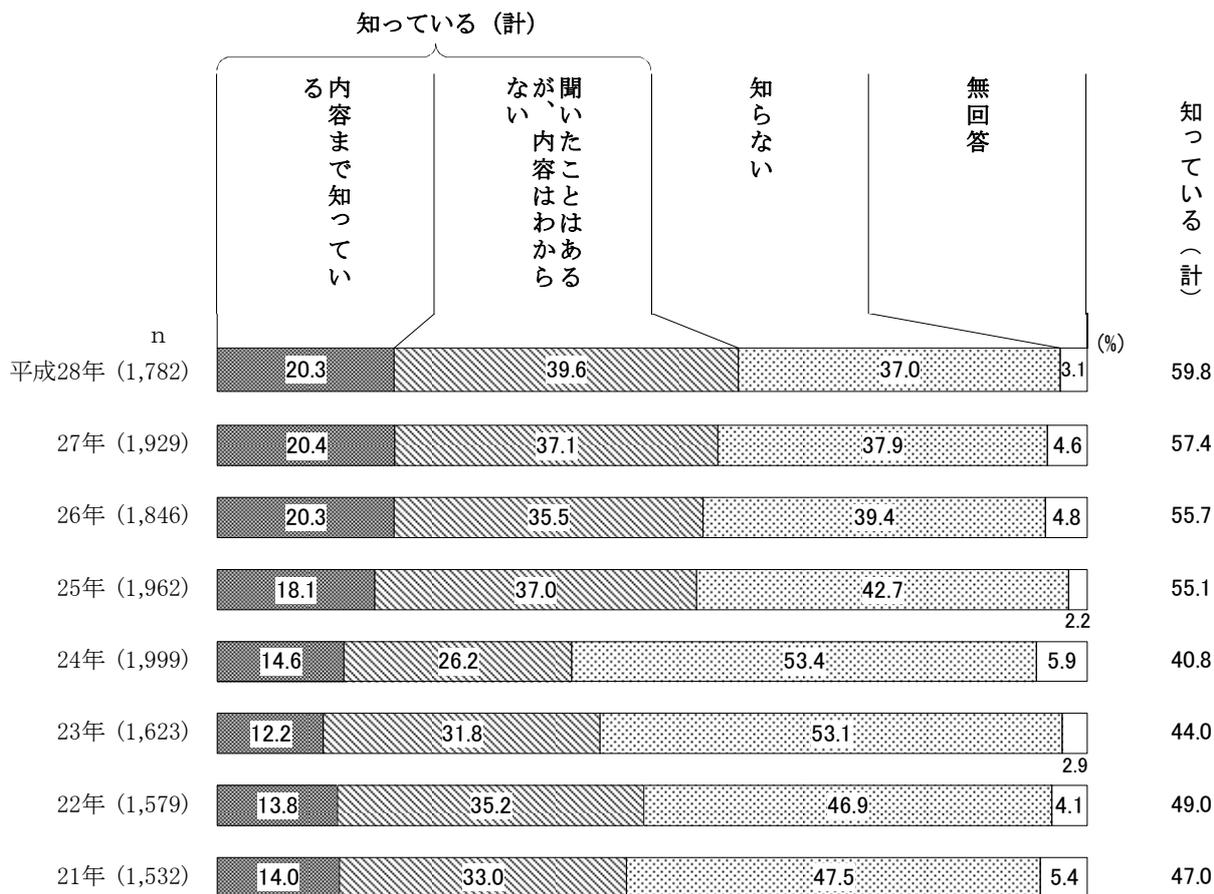


(7) 「成年後見制度」の認知状況

■ 【知っている】は6割で、平成25年以降、増加が続く

問38 あなたは、高齢者などの権利を守るしくみとして、「成年後見制度」を知っていますか。
(○は1つだけ)

図9-7-1 経年比較／「成年後見制度」の認知状況



成年後見制度について、「内容まで知っている」は20.3%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の39.6%を合わせた【知っている】は59.8%を占めている。一方、「知らない」は37.0%となっている。

経年でみると、【知っている】は今回59.8%と、平成27年の57.4%から2.4ポイント微増し、平成25年以降増加傾向を示している。

性別でみると、【知っている】は男性58.9%、女性60.4%となっている。

性・年代別でみると、男性では、60代、70歳以上で【知っている】が、それぞれ69.4%、66.5%と高くなっている。

女性では、50代では【知っている】が72.2%と高くなっているほか、40代、60代、70歳以上でも6割を超えている。

図9-7-2 性別、性・年代別／「成年後見制度」の認知状況

